

環境分野プロジェクトチーム報告概要

検討の視点

- 世界的に環境問題への対応が喫緊の課題
- 我が国は優れた環境技術を保有
- 我が国の環境技術を世界中に普及させることが重要

分野の特性

- 政策の与える影響が大
- 二つの異なる技術領域
 - ①先端的环境技術
(燃料電池など国際的な研究開発競争が激しい技術)
 - ②地域環境技術
(水質浄化技術など技術レベルは相対的に低く、地域ごとのニーズへの対応が必要な技術)

現状と課題

①先端的环境技術

- 技術とニーズの高度化
→萌芽的研究、科学に遡った基礎研究、異分野融合研究
- 不十分な国際展開
→外国での知的財産権の先行取得
→国際標準の獲得等

②地域環境技術

- 途上国の環境ニーズへの対応
→普及技術の改良
→途上国の環境行政の遅れ
→技術移転に伴う模倣品発生のおそれ
→中小企業による事業展開の余地

対応策

①先端的环境技術

1. 我が国環境技術の一層の向上
 - (1) 基礎研究の充実と産学官連携の強化
環境分野のニーズに対応した提案をできる人材の大学等への配置
 - (2) 政策的措置の積極的活用
省エネトップランナー基準等の強化
2. 国際展開の強化
 - (1) 権利の早期取得を可能にする枠組みの諸外国への拡大
 - (2) 国際的枠組みづくりや国際標準策定への積極的関与

②地域環境技術

- 外国・地域への普及の促進
 - (1) 改良技術の特許化等多様なビジネスモデルの追求
 - (2) 外国における環境政策の整備
途上国に対する環境政策に関するノウハウの提供と人材育成への支援
 - (3) 外国における知財保護体制の整備
途上国における知的財産の保護に向けた人材育成等の支援
 - (4) 中小企業に対する外国特許出願支援制度の拡充